

# 平成29年12月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

## ◎ 個人質問

20番 森本典夫

### 1. 各小・中学校に校務員を配置することについて

これまで私は一般質問で何度か「小・中学校に校務員の配置を」と問題提起してきました。現在、教育委員会として教員の負担が少しでも軽くなるように、働き方改革を行っておられますが、依然として忙しさはあまり改善されていません。

やはり抜本的な改善策として、各小・中学校に校務員を配置し、今まで教員がやっていた雑務処理などを校務員にお願いすることで、教員本来の仕事に専念でき、今まで以上に子どもと向き合う時間の確保が改善されるのではないのでしょうか。

一気に各小・中学校に配置ということが不可能であれば、数校ずつ順次配置する方法を考えてはどうか。

### 2. 定住促進を目指し、市と住宅金融支援機構が住宅ローンの金利優遇に関する協定を締結することについて

この協定は、これまで県下では高梁市、総社市、津山市の3市が締結していましたが、11月に入って笠岡市が締結したという報道がされています。

この機構との協定締結によって、住宅を新築するための長期固定金利住宅ローンを組む人のローン金利が一定期間引き下げられる恩典があるので、井原市もこの機構と協定を締結し、井原市へI・Uターンする若者らの定住促進を目指してはどうか。

### 3. 「美しい星空を守る井原市光害防止条例」の対象地域を、美星地域だけでなく井原市全域にすることについて

この「光害防止条例」は、全国的に見ても美しい星空の環境を守るためという特徴のある素晴らしい条例です。

しかし、この条例は美星地区だけが対象になっています。美星天文台での観測は、できるだけ広範囲な光の規制があることで、観測の環境がより一層整うものです。

したがって井原市全域を対象地域にし、少しでも美星天文台での観測の環境を整備すべきではないですか。

#### 4. ため池の保全・管理を徹底するため総点検し、住民の安心・安全を確保することについて

昨今、全国各地で集中豪雨、ゲリラ豪雨と言われる激しい雨に見舞われ、甚大な被害が発生したというニュースが頻繁に報道されています。

市内のため池は豪雨があった時、安全なのでしょうか。

市としてため池の保全・管理を徹底するため総点検し、住民の安心・安全を確保するため万全の策を講じるようにしてはどうですか。

#### 5. 公民館主事の報酬の引き上げについて

公民館主事制度が発足して以来、各地区の公民館主事は公民館長の活動を強力に補佐し、事務処理等の多くを担当し奮闘されています。

これからますます各地区の公民館活動が重要視されてくると考えますので、公民館主事は事務処理等でますます忙しくなると考えます。したがって、公民館主事の報酬を引き上げてはどうですか。

3番 柳原英子

#### 1. 聴覚障害者の方々に対する市の情報の伝達方法について

①聴覚障害者の方へのさまざまな本市イベントのお知らせは市の広報などで行われています。災害時にはお知らせくに連動したシルウォッチ、ファックス119番などでお知らせをするようになっていますが、このシルウォッチはどのくらい普及していますか。

- ②悪質商法や振り込め詐欺などの特殊詐欺防止のための注意喚起放送などの情報は、どのように伝えられていますか。
- ③井原放送の文字放送で情報を伝達するには、どのような条件が必要ですか。
- ④最近、お知らせくんでの情報はとても重要で、まちづくり協議会や、講演会のお知らせ、消費生活センターからのお知らせなどは、タイムリーに伝えられて助かっていますが、聴覚障害者の方にはどのような手段で伝えられているのですか。
- ⑤LINE@の活用を考えられていますか。

19番 佐藤 豊

#### 1. 徘徊高齢者家族支援サービスの拡充について

高齢化の急激な進展により、認知症による徘徊高齢者の増加が社会問題となっています。本市においては、徘徊高齢者を介護されている家族への支援策として、徘徊高齢者位置検索装置の貸し出しや認知症サポーターの養成により、早期の発見と見守り等の支援を行っているところであります。

全国の自治体の中には、登録制で高齢者の徘徊対策用のQRコードのアイロンプリントやシールを作成し、徘徊する高齢者の衣服や爪などに貼ってもらい、早期の発見と迅速な身元確認に繋げる取り組みを行っているところもあります。

近隣では総社市が取り組まれていると聞きますが、本市の導入についてのお考えを伺います。

#### 2. 赤ちゃんの紙おむつ支給事業について

少子化対策として、また、子育て世代の経済的負担軽減策として、満1歳未満の乳児の紙おむつを無料で交換できるクーポン券を交付する自治体が増えつつあります。自治体により発券の内容は様々ですが、1か月あたり1,000円分から3,000円分まで、12か月で12,000円分から36,000

円分を限度としている自治体が多く、2歳未満の乳幼児に交付している自治体もあり、いずれも申請により交付されているようです。また、使用後の紙おむつを入れるゴミ袋を併せて交付する自治体もあり、利用者から喜ばれているようです。

本市としても、少子化対策、また、子育てしやすい環境づくりとして、こうした事業に対し積極的な取り組みをしてはと思いますが、お考えを伺います。

### 3. 健康づくりポイントカード事業について

約7年余り後の2025年には団塊の世代が75歳を迎え、医療・介護・年金等の課題が大きな社会問題となることが予測され、その対策が急がれます。特に地方自治体においては、医療費の抑制や要介護・要支援者への介護環境等への対策が求められる中、中高年の健康づくりや検診率の向上が求められています。

しかし、特定健診やがんの検診率においては伸び悩みの状況下であり、その解決策が望まれています。

全国の自治体の中には、健康づくりポイントカード事業として、特定健診や各種がん検診を受けた方に、また、スポーツイベントや運動教室への参加者、さらに、ヘルシーメニューの購入の際にもポイントを付与し、一定のポイントに達した人には商品券や景品を提供する取り組みを行っているところもあります。内容は自治体により異なりますが、検診率の向上と予防意識の醸成に、また、スポーツ行事や運動教室への参加により、健康づくりへの動機付けに繋げる取り組みであります。

試験的に実施した自治体では医療費の抑制にも効果を確認したとの報告があることから、各自治体への広がりを見せています。

本市もそうした取り組みによる検診率向上や市民の健康増進に向けた対策が必要と思いますがお考えを伺います。

1. 市道の認定について

- ① 1種市道、2種市道（農道）の認定基準について伺います。
- ② 1種市道・2種市道（農道）の改良、修繕の基準について伺います。
- ③ 生活環境の変化により、利用頻度が多くなった2種市道（農道）などの路線に関して、市道への格上げを行い、改良・改修を行ってはどうか伺います。

2. 井原駅北側駐車場の一部有料化について

平成27年12月議会の一般質問で、井原駅、駅ナカ店舗の利便性向上のため井原駅北側駐車場の一部有料化の提案をいたしました。有料化するには自動精算機システムの設置などの導入費用や維持管理費が必要となり、費用対効果を考えると無料が適切であるという答弁でした。

また、平成28年度に、駅ナカ店舗の駐車場に関しては、専用の場所のラインを引き直し、長時間駐車の方を南駐車場に誘導する看板も設置されています。しかしながら、現状は十分改善されたとはいえません。

そこで、改めて北側駐車場の一部有料化を検討していくべきと考えますが、市のお考えを伺います。

1. 人口減少対策について

1) 将来人口の推計及び目指す将来展望の市民への啓発について

人口ビジョンを策定し、本市の将来人口の目標値も定まったと考える。人口減少に対する危機感を共有するためには、今後、市民にいかに周知していくかが非常に重要である。啓発の現状と今後の課題について伺う。

## 2) 未婚化・晩婚化対策について

未婚化・晩婚化対策は、行政のみならず地域の協力なくしては進展しないものとする。また、結婚を推進するための人材育成、結婚適齢期の人たちの出会いの場作り、地域における情報交換の場が今以上に必要であると考えられる。そこで、未婚化・晩婚化対策の現状及び今後の計画について伺う。

## 2. 「お知らせくん」の運用について

地域防災はじめ行政情報、地域行事の紹介など、市民への情報伝達手段として、「お知らせくん」の果たす役割は非常に大きいものがある。「お知らせくん」の運用はどのような基準に基づいて行われているのか、現状及び今後の課題について伺う。

7番 荒木 謙 二

## 1. 「元気いばら まち・ひと・しごと創生総合戦略」での施策の現況と今後について

1) 基本目標1「井原市における安定した雇用を創出する」の具体的な施策について、現在までの実施状況と今後の事業実施の方向性について伺います。

①産業団地の開発について

②経済・雇用対策補助事業（イバラノミクス）の強力な推進について

③井原デニムによる地域活性化事業の推進について

④農産物のブランド化、6次産業化の推進について

⑤地元就職の推進について

2) 基本目標2「井原市への新しいひとの流れをつくる」の中の「美しい星空」の活用について、具体的な事業の実施状況と今後の事業実施の方向性、並びに「美星天文台」「中世夢が原」の整備計画について伺います。

## 2. 多面的機能支払交付金の状況について

井原市では、平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策交付金」（平成23年度に「農地・水保全管理支払交付金」に名称変更）により、地域の共同活動による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境を保全・向上する取組に対して支援を行ってきました。

平成26年度からは、新たに創設された「農地維持支払交付金」と、「農地・水保全管理支払交付金」を組替・名称変更した「資源向上支払交付金」から構成される「多面的機能支払交付金」として支援を行っています。

本年9月の報道によりますと、平成28年度実績で、岡山県は「中国5県で農用地面積は最も広いが、利用額は最低であった」とされています。

そこで、「多面的機能支払交付金」の概要、井原市の利用状況及び今後の取り組みについて伺います。

6番 西村 慎次郎

## 1. ふるさと納税の取り組み状況について

ふるさと納税制度は、ふるさとや各自治体のさまざまな取り組みを応援する仕組みとして、平成20年度税制改正によって創設されました。

全国的に見ますと、創設以来、その実績は着実に伸びており、ふるさと納税を通じて寄せられた資金は、子育てや教育、まちづくりなどに活用され、地域の活性化に資するとともに、災害時における被災地への支援としても役立っています。本市においても、教育や文化、環境に関する整備事業に対して活用されてきています。

一方、ふるさと納税制度という税制上の措置とは別に、各地方自治体が独自の取り組みとして行っている返礼品の送付については、近年、地方自治体間の競争が過熱しているほか、一部の地方自治体においてふるさと納税の趣旨に反

するような返礼品が送付されているなどの指摘がなされています。

そうした中、本市においても、本年度から返礼品の品目を増やすなど、ふるさと納税を増やす取り組みをされてきています。しかし、本年4月1日付けの総務大臣通知を受け、一部の返礼品の見送りなどの対応もされたと伺っています。

そこで、本市のふるさと納税の取り組み状況について、次の3点を伺います。

①本年4月1日付けの総務大臣通知への対応について

②本市における本年度の寄附の状況について

③寄附金の使途の指定状況について

## 2. 国内旅行者の誘客に向けた取り組みについて

日本国内では、今年の訪日外国人旅行者数が、先月4日の時点で、過去最高だった昨年の約2,404万人を既に上回ったことが明らかになるなど、インバウンドを取り巻く環境は勢いを増しています。

一方、国内旅行に目を向けると、国が発表した今年7～9月期の「旅行・観光消費動向調査」では、日本人国内延べ旅行者数は1億8,546万人（前年同期比1.7%増）、日本人国内旅行消費額は6兆1,999億円（前年同期比0.6%増）と、堅調に推移しています。

岡山県においても、平成28年の入込観光客数が前年比で大きく増加している状況です。

本市においても、そうした状況に乗り遅れないように、今まで以上に観光行政に力を入れていくべきと考えます。

そこで、本市の観光行政に対する取り組みについて、次の3点を伺います。

①井原市への入込観光客数の状況について

②国内旅行者の誘客に向けた取り組みについて

③観光客の滞留・滞在につながる取り組みについて

1. 市内での障害者雇用事業所及び就労継続支援A型事業所の現在の状況について
  - ①市内で障害者の方を雇用していただいている事業所の件数及び雇用されている障害者の方の数について伺う。
  - ②市内での就労継続支援A型事業所の件数及びA型事業所の経営状況について伺う。
  - ③井原市職員の障害者雇用の状況について伺う。
  - ④井原市では今後の障害者の方の雇用について、どのように考えているのか伺う。
2. 働く障害者の方の通勤手段について
  - ①公共交通会議等では、働く障害者の方や健常者の方の通勤手段として、あいあいバスや井原線との連携等について協議をされているのか伺う。
  - ②雇用事業所が最寄りの駅等から障害者の方を送り迎えした場合、事業所への補助、車両購入の補助は出るのか伺う。

1. 農業政策における有害鳥獣対策及びゆずの生産支援について
  - 1) 本年はイノシシ被害が多く、農家の方は大変ご苦労されたようです。平成28年11月に鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の一部を改正する法律が成立し、平成28年12月2日に改正されました。各種規定の新設・拡充の中に「捕獲した鳥獣の食品としての利用等の推進」とあります。  
そのことを踏まえ、有害鳥獣対策の一環として美作県民局、備前県民局管内

ではジビエ料理のレシピ開発などに盛んに取り組んでいます。

本市ではこの鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律及びジビエ料理に対してどのように考えておられるのかお伺いします。

2) 本市は、ゆずの産地として県内でもトップクラスの収穫量を誇ります。JA岡山西柚子部会では、平成25年度では73戸のゆず生産者で60.4トンの収穫があったとのことですが、現在は何戸でどのくらいの収穫量でしょうか。

また、収穫されたゆずのほとんどが加工用としてJA山口、福岡の搾汁メーカーに、そして生食用として福山や岡山の市場に出荷されています。また、6次産業化として、ゆずポン酢、ゆず味噌、ゆず美人などJA岡山西柚子部会をはじめ、いくつかのグループで開発、製造しておられます。

本市では農産品の中でゆずはどのように位置づけされているのか、また、今後、生産者に対してどのような支援を考えていかれるのかお伺いします。

4番 山下 憲 雄

#### 1. 人口減少による耕作放棄地の管理と対策について

耕作放棄地には所有者がはっきりしている土地、また所有者不明の土地と様々です。今回の稲倉産業団地の土地についても代替わりしていても相続登記がなされていない場合が多いと伺っています。相続登記の法的義務はないとはいえ、このまま放置しておけば道路整備、土地活用、また税の徴収にも支障をきたすことが推測されます。

このような耕作放棄地の発生を抑制する対策と、すでに放棄地となってしまった土地を再生・活用する対策が必要です。魅力あるまち、住みやすいまちを望む市民と行政は、耕作放棄地の解消及び再生対策について具体的対策を話し合う必要があると思いますが、次の点について市の意向を伺います。

①耕作放棄地が年々増加していますが、その防止対策について

②耕作放棄地の再生利用への具体的対策と過去の実績について

## 2. 農地等の鳥獣被害対策について

地区住民にとって最も身近な問題に鳥獣被害があります。繰り返される被害により耕作をあきらめ、さらに放棄地が増える現状となっており、現在の対応では被害減少には至っていません。行政も地域もこの問題に抜本的に対応することが必要ですが、次の点について伺います。

①鳥獣被害の状況把握と被害減少対策について

②現在の被害防止のための補助金制度の内容と補助金の活用状況について

## 3. 「井原市公共施設等総合管理計画」の基本方針について

井原市公共施設等総合管理計画の概要版によると、本市の公共施設等は築後30年以上が70%を占め、本市の公共施設等は今後一斉に建てかえや大規模改修期を迎えることとなります。今後30年間の更新費用は約1,990億円と試算されており、内訳は公共施設が約950億円と道路水道等インフラ関係が約1,040億円となっています。年平均約66.3億円が必要になりますが、施設部門いわゆる箱物だけでも年平均約32億円の費用が必要となります。管理計画では公共施設に係る行政コストを今後10年間で100億円以内に抑制する計画ですが、次の点について伺います。

①公共施設は複数の部局により管理されていますが、組織連携と計画統制について

②今後の公共施設管理全般に関わる基本方針について

## 4. パートナシップ・プロジェクト事業について

少子化により一層人口が減少していく中で、各地域では「組織が沢山あるから役員の掛け持ちが多い、今後も活動を続けていけるか心配」など地域の皆さんから自治活動への不安の声が寄せられており、地域のコミュニティー機能が年々低下していくことが懸念されます。

市では過去5年間にわたりパートナーシップ・プロジェクト事業を推進して、全地区に対して地域づくりの取り組みを支援してきており、財政的にもおよそ7,000万円の投資がなされました。

人口減少と高齢化が進行する中で、自立した地域活動が行われるようになるためには行政の支援が欠かせません。そこで、次の点について伺います。

①これまでの実績評価と今後の事業方針について

②制度の変更及び改善点について

③運用上地域に期待することについて

#### 5. 稲倉産業団地及び四季が丘団地企業用地への企業誘致について

稲倉産業団地及び四季が丘団地企業用地への企業誘致の実現は、今や悲願となっており、今後の行政運営の財源確保という点でも最も重要なことでもあります。

稲倉産業団地については、既に誘致場所も決定済みであり、用地取得後は誘致実現に向けて、だれが（担当者）、だれに（どの企業に）、どのような方法手段で果敢な行動をとるかが大切です。そこで、次の点について伺います。

①稲倉産業団地及び四季が丘団地企業用地への企業誘致を実現するための組織体制強化の意向について

②対象企業のニーズを把握したうえ、具体的企業訪問を実施していく意向について

9番 惣 台 己 吉

#### 1. 井原市の今後の財政運営について

現在、「輝くひと 未来創造都市 いばら」を基本理念とした「井原市第7次総合計画」の策定が進められており、併せて、この本市のまちづくりの最上位計画のスタートの年である平成30年度当初予算の編成が進められているところである。

本市では、少子高齢化が急速に進み、自主財源である市税の増収が見込めず、また、依存財源の大半を占める地方交付税についても、合併算定替特例期間の

終了により、平成27年度から平成32年度まで段階的に削減されるなど、財源確保が大変厳しい状況にあり、また、こうした厳しい状況は、今後も続くのではないかと推測される。

そうしたなか、「井原市第7次総合計画」に掲げられる事業を着実に推進するためには、財源確保、持続可能な財政運営が必要不可欠であるが、財源確保に向けた取り組み、また、今後の財政運営の基本的な考え方を伺う。

## 2. 有害鳥獣駆除のわなの設置について

有害鳥獣が増加している昨今、行政としても駆除対策に追われていると思う。

そうしたなか、イノシシ等の駆除を猟友会の駆除班に依頼するなど対応されていると思うが、捕獲のためわなを設置する場合、その設置されたわなによって一般市民に危険が及ぶようなことがあるのか。

わなを設置する際のルールは、どのようになっているのか伺う。

14番 簗戸利昭

## 1. 農地中間管理事業について

①基盤整備、農業構造改善事業が行われていない農地を農地中間管理機構関連農地整備事業で行う場合、どういう条件を満たせば実施できるのか伺う。

②具体的な面積要件はどのようになっているのか伺う。

③受益者負担金はどれくらいになるのか伺う。

## 2. 地域おこし協力隊について

①地域おこし協力隊の現在までの経過について伺う。

②地域おこし協力隊増員に向けての今後の対応について伺う。

1. 2016年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査における本市の調査結果と今後の対策について

- ①毎年行われている児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の目的と調査方法について伺います。
- ②同調査の中のいじめ認知件数が全国的に増加しています。報道では、その要因に文部科学省の積極的把握方針や定義変更があったとされていますが、その内容について伺います。
- ③いじめ認知件数について県内他市との比較を含め、本市の過去3年間の数値の変化について伺います。
- ④井原市いじめ問題対策基本方針の内容と期待する効果について伺います。

2. 公共施設の更新計画について

- ①井原市公共施設等総合管理計画では、公共施設の更新などにかかる費用の見通しが示されていますが、更新費用の算出方法について伺います。
- ②本市の公共施設について、更新・長寿命化・統廃合などの方針決定の過程と決定時期について伺います。
- ③公共施設の更新に関して、長寿命化の方法を第一に考えることが本市の財政にとって重要だと考えますが、井原体育館の更新または長寿命化などの本市の基本的な方針について具体的に伺います。

1. 井原市都市計画マスタープランについて

1) マスタープランの意義と今後の将来都市像について

このたび、井原市都市計画マスタープランが完成するということですが、策定の意義と今後の将来都市像について伺います。

2) コンパクトシティについて

この都市計画マスタープラン（素案）において、「目指すべき都市構造としては、コンパクトで持続可能な都市づくりのために適切な拠点とネットワークの整備のあり方を示す」とあります。

そこで、コンパクトシティに対する市長のお考えをお伺いします。

2. 地域公共交通を取り巻く状況と今後の取り組みについて

①予約型乗り合いタクシーの利用促進について

先日、井原市公共交通会議を傍聴したときにも話題になっていましたが、現状は山間部の地域の方々の利用数が極端に少ないところもあるようです。そこで、市として利用促進にどのような取り組みを行っているのか伺います。

②高齢者の免許返納の推進に伴う、本市の取り組みについて

昨今、高齢者の運転ミスによる事故が増えているように感じます。そこで、免許の返納を促進する取り組みを、本市が行っているのか伺います。

3. 国道313号線バイパス、高屋・神辺境付近の土地利用の計画について

①国道313号線バイパスの開通予定について

現在、神辺方面に伸びる国道313号線バイパスはトンネル部分もほぼ完成し、あとは接続されるのを待つばかりとなっているように思えますが、開通はいつの予定か伺います。

②土地利用に関する井原市の取り組みについて

また、バイパスが開通すると国道沿いには様々な商業施設が出店されるようになることが予想されますが、井原市としては神辺側よりも、井原側に商業施設などのにぎわい施設が設置される方が望ましいと思います。

そこで、井原市の優遇施策についてどのようなものがあるか伺います。